

令和3年度特許調査実践研修 実施報告

令和4年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和3年度 大阪工業大学と連携して、特許調査実践研修をオンラインにて実施しました。本研修では、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる効率的な特許調査の手法や特許審査基準に基づいた特許性判断について、講義だけではなく、実習、グループディスカッションを通じて学習いただきました。また、研修内容の疑問や日常業務の特許調査等に関する悩みを講師に個別相談できる「お悩み相談室」を開設し、受講生に活用いただきました。

1. 研修の概要		
(1)日程	9月1日～3日(3日間)	
(2)開催方法	オンライン	
(3)参加人数	30名	
(4)講師	4名	
2. アンケート結果 (回収率:97%)		
(1)研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	23名	79%
・有意義であった	6名	21%
・どちらとも言えない	0名	0%
・有意義でなかった	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%
・無回答	1名	—
(2)主な意見・要望	<p>・普段は新規性に重きを置いた検討や調査しか行わないので、進歩性の観点に立って調査を行うことができ、公報の見方をはじめ普段とは少し異なる調査の観点を持つことができた。</p> <p>・審査官の考えるフローや実際の着目点が非常に良く理解できた。</p> <p>・最初は検索方針の立て方に戸惑ったが、お悩み相談室の丁寧な指導もあり、検索を終えることができた。</p> <p>・いかに調査が自己流すぎて、なんとなくで検索していたのかが、よく分かった。レポート提出があるのは緊張感があって良いと思う。</p> <p>・日頃お話出来ない他社の知財担当者(業界違い)と話をすることができ、他社の様子やレベルの違いを認識できて、とても良い機会だった。</p> <p>・通信が中断する点は残念だが、オンラインのため対面より質問し易く感じた点は良かった。</p>	